



12団体に計500万円助成

みち銀・貢献基金
青森で贈呈式

みちのく銀行が設立した公益財団法人「みちのく・ふるさと貢献基金」(杉本康雄理事長)は22日、青森市のホテル青森で2018年度の「教育・福祉・環境助成事業」の助成金贈呈式を開いた。市民団体など12団体に計500万円を贈った。

18年10月、19年9月に行う活動を対象に募集。36件の応募があり、選考委員会などを経て助成先を決めた。杉本理事長が「助成金を活用して青森県の活性化のために頑張ってほしい」

助成金の贈呈書を手にする
団体の代表者ら

とあいさつし、各団体の代表者に贈呈書を手渡した。

国際レベルの災害救助犬と指導手(ハンドラー)の育成活動に活用するNPO法人北東北捜索犬チームの岩本良二理事長は「災害救助犬は県内に2頭しかいない。国際ライセンスを取得できるレベルの救助犬をたくさん育て、一人でも多くの命を救いたい」と抱負を語った。(小橋徹)